

□知床連山縦走路（最終巡視日：6月23～25日）

・ 羅臼平テントサイト

羅臼平のフードロッカー（1基）は利用可能です

・ 羅臼平～三ッ峰上部

羅臼平のフードロッカー（1基）は利用可能です

6月25日現在は三ッ峰南西雪田が登山道に一部がかかっていますが、7月5日は無くなっていることが予想されます。

6月25日の巡視時に三ッ峰南西雪田で採食している通常行動中のヒグマが確認されています。

・ 三ッ峰上部～三ッ峰テントサイト

上部の雪田は縮小していて登山道にもかかっています。

北東斜面は傾斜が緩くなってからテントサイト近くまで雪田が続いていて、7月5日以降も残っていることが予想されます。

・ 三ッ峰テントサイト

2箇所のテントサイトは両方とも乾いていて利用可能です。フードロッカー（2基）は利用可能です。

テントサイトに挟まれる位置にある水場は6月25日現在は積雪の下でしたが7月5日には露出していることが予想されます。水は三ッ峰北東斜面からの融雪水なので浄化することをお勧めします。なお、融雪が水場に供給されているので、三ッ峰北東斜面からテントサイトの区間は汚染しないように留意してください。

・ 三ッ峰テントサイト～サシルイ岳

6月24日現在はサシルイ岳南西斜面の雪田は中段より上部が残っています。7月5日は上部を残して縮小していることが予想されます。

6月24日現在はサシルイ岳上部に登山道にかかるように残雪がありますが、7月5日に

は消滅していることが予想されます。

・サシルイ岳～ミクリ沼

サシルイ岳北東斜面には大きく雪渓が残っています。傾斜は急ではありません。

6月24日現在はミクリ沼周辺は積雪下ですが、7月5日には登山道も含め露出していることが予想されます。

・ミクリ沼～オッカバケ岳

積雪はありません。

・オッカバケ岳～二ッ池

6月24日現在、オッカバケ岳北東斜面には雪田が大きく残っていて、登山道はほぼ埋没しています。7月5日はほとんどの登山道は露出することが予想されますが、ロックガーデンなどには残っていることが予想されます。雪田下部で水場となる登山道から南西にある雪田は、今年は規模が小さいため例年より早めに消滅する可能性があります。

・二ッ池テントサイト

南岳分岐側のテントサイトは利用可能です。オッカバケ岳側のテントサイトは6月24日現在積雪下となっています。なお、オッカバケ岳側のテントサイトは通常はロープで規制していて、8月中旬などの混雑期のみ利用可能です。

フードロッカー（2基）は利用可能です。

・二ッ池～南岳分岐～南岳

積雪はありません。

・南岳～風衝地～知円別平～知円別分岐

6月24日現在、知円別平に積雪がありますが、7月5日は消滅していることが予想されます。

・ 知円別分岐～中ノ廊下（コケシ岩）～第二前衛峰

知円別分岐から中ノ廊下に渡るトラバース部分は崩落が進んでいるので落石に注意が必要です。

中ノ廊下も部分的に崩落が進んでいるので転落に注意が必要です。

6月23日現在、第二前衛峰南西斜面には急傾斜で雪渓があり、7月5日以降も残っていることが予想されます。雪渓下部は融雪進んでいてすでに地面が露出しているため滑落した場合、岩などに激突する可能性があります。

・ 第二前衛峰～第一火口分岐

積雪はありません。

・ 第一火口分岐～第一火口

6月23日現在、第一前衛峰南側に残雪があり登山ルートが不明瞭ですが、7月5日は雪はほぼ無くなっていることが予想されます。

6月23日現在、第一火口の雪渓は大きく残っていますが、例年よりは少ないことから、テントサイトに直接至る斜面は急傾斜となっていて、下部の岩も露出しています。6月23日は雪渓上部を西側に通過できましたが、すでに雪面にクラック（ひび割れ）が走りラントクルフト（岩場との隙間）も発生していました。

・ 第一火口テントサイト

6月24日現在、テントサイト中央部は積雪下になっていて、テントが張れる場所は限られていましたが、7月5日には露出していることが可能性があります。

6月24日現在、フードロッカー（2基）は積雪下になっていて利用できませんでしたが、7月5日には露出している可能性があります。

6月24日現在、テントサイトに広がる雪渓の西側末端の融雪の流れ出しで採水可能でした。融雪水なので浄化をお勧めします。なお、雪渓からの融雪からの採水となるので雪渓や雪渓周辺は汚染しないように留意してください。

・ 第一火口分岐～第三火口～硫黄山分岐（硫黄山登山口方面）

第一火口分岐から第三火口間の登山道上に2025年に落石があり、大きな石をつたって迂回するようになった箇所があります。

6月23日現在、第三火口の硫黄山側斜面上部に残雪がありますが、7月5日には無くなっている可能性があります。

6月23日現在、第三火口と硫黄山分岐間の登山道のトラバース部分は急傾斜の雪渓となっていて、7月5日以降も残っていることが予想されます。トラバース部分の下流側の岩場が露出しているため、滑落した場合は岩などに激突します。